

著者紹介

三浦 重人 Miura Shigeto

愛知県がんセンター社会復帰部長。医学博士。昭和38年名古屋大学医学部卒業、39年名古屋大学医学部第一外科入局、43年愛知県がんセンター第二外科(現・乳腺外科)勤務、53年同乳腺外科副部長、平成5年現職。研究歴・専門分野：乳癌の臨床研究-乳癌のリンパ節転移の研究、乳癌の術後補助療法の研究、進行再発乳癌の化学内分泌療法、日本人乳癌の家族発生、日英乳癌の比較研究。日本外科学会、日本乳癌学会、日本癌学会・癌治療学会。

堀尾 武 Horio Takeshi

関西医科大学皮膚科助教授。医学博士。昭和40年京都大学医学部卒業、41年同皮膚科入局、43年ペンシルバニア大学にて研究に従事、53年京都大学医学部皮膚科講師、55年京都大学医学部皮膚科助教授、平成1年現職。研究歴・専門分野：光生物学、光線過敏性疾患、皮膚免疫学。日本皮膚科学会、日本研究皮膚科学会、日本アレルギー学会。

飯野 四郎 Iino Shiro

聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター教授。医学博士。昭和39年東京大学医学部卒業、40年同第一内科入局、46年同第一内科助手、63年同第一内科講師、平成4年現職。研究歴：昭和41～53年主としてアルカリホスファターゼアインザイムの研究、54年～現在ウイルス肝炎の研究。専門分野：ウイルス肝炎の病態・治療・予防。日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会。

松本美富士 Matsumoto Yoshifuji

名古屋市立大学医学部附属病院輸血部助教授。医学博士。昭和43年名古屋市立大学医学部卒業、47年名古屋市立大学大学院修了、49年名古屋市立大学医学部第二内科助手、55年同講師、56年現職、58年愛知医科大学第二内科非常勤講師。専門分野：リウマチ・膠原病の病因・病態の解明の研究、痛風合併症の臨床的研究、難病の疫学的研究。日本内科学会、日本リウマチ学会、日本アレルギー学会。

宇理須厚雄 Urisu Atsuo

藤田保健衛生大学医学部小児科講師。医学博士。昭和49年名古屋大学医学部卒業。49年半田市立半田病院にて研修、名古屋大学大学院小児科学専攻課程修了、54年トヨタ病院小児科医師、58年米国食品医薬品局(FDA)留学、61年名古屋大学医学部小児科学講座文部教官助手、61年現職。専門分野：小児アレルギー。日本小児科学会、日本アレルギー学会、日本小児アレルギー学会。

鈴木 文雄 Suzumura Fumio

鈴木内科院長。医学博士。昭和26年名古屋大学医学部卒業、27年厚生技官、32年文部技官、37年現職。研究歴・専門分野：27～36年肺循環生理、30～32年脂肪代謝、32～36年循環生理、呼吸器生理学、現在一循環器疾病、産業医学。日本内科学会、日本循環器学会、日本糖尿病学会。

神野 哲男 Kanno Tetsuo

藤田保健衛生大学医学部脳神経外科教授、同救命救急センター長。医学博士。昭和40年慶応大学医学部卒業、54年現職。専門分野：脳神経外科-頭蓋底の外科、高血圧性脳出血、遷延性意識障害。日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会、日本救急医学会。

高階 經和 Takashina Tsunekazu

高階クリニック院長、大阪大学非常勤講師、社団法人臨床心臓病学教育研究会会長。医学博士。昭和29年神戸医大(現神戸大学医学部)卒業、33～37年米国チュレーン大学内科学。46年米国チュレーン大学客員教授、59年米国マイアミ大学客員教授、60年大阪大学歯学部歯科麻酔科非常勤講師、社団法人臨床心臓病学教育研究会設立・同会会長。研究歴・専門分野：昭和30～33年大阪大学医学部第一生理学教室において研究、33～27年米国チュレーン大学において放射性同位元素による心膜炎の研究、37年～現在臨床心臓病学における教育技法および心電図学における空間記録法の研究。アメリカ心臓病学会、アメリカ心臓協会臨床心臓病学協議会、日本循環器病学会。